

2023年度理工学部FD活動報告

理工学部 2023年度 FD委員会委員 河野浩之

理工学部の2023年度に実施した FD 活動は以下の通りである。

- 当初計画

- (1) FD 報告会の開催

学部教員全員を対象とする FD・自己点検報告会を開催する。

- (2) FD 講演会の開催

外部講師を招いて FD 講演会を開催する。コロナ対応の状況に応じて学内での情報交換の場とすることもあり得る。

- (3) 教育活動の評価

教育活動の評価を行い、優れた授業を行うなど、学部の教育に貢献のあった教員を表彰する。

- (4) 「学生による授業評価」の実施結果の分析

2017 年度から開始した。授業評価アンケートの理工学部独自の設問の回答について、全学共通の設問の回答と合わせて分析を行う。

- (5) 教員相互の授業参観の促進

- 2023 年度活動内容

- (1) FD 自己点検報告会を開催とした。

2024年3月 10日（日）11時30分～13時04分 参加者35名

Zoom によるオンラインで「JABEEについて」ならびに「新学科2年次に新規開講したプログラミング科目」に関する報告を行った。

- ・ JABEEについて

JABEE委員会委員長（蜂巢先生）

- ・ 新学科2年次に新規開講したプログラミング科目

システムプログラミング担当（名倉先生）

数理技術プログラミング担当（小市先生）

ネットワークプログラミング担当（横山先生）

機械制御プログラミング担当（張先生）

当日用いた発表資料を教授会資料に加える形で、学部構成員で資料共有した。

FD報告会_JABEEについて (2024/03/08 18:51:11 9.3MB)
システムプログラミング (2024/03/10 16:00:10 2.1MB)
ネットワークプログラミング (2024/03/10 16:00:37 2.3MB)
数理技術プログラミング (2024/03/10 16:00:25 264.1KB)
機械制御プログラミング (2024/03/10 16:00:54 1.5MB)

(2) FD 講演会

2023年7月6日 (水) 14時00分～15時20分 参加者 31名

(株)リクルートから講師を招き、Zoom によるオンラインで「2023 年度入試結果の振り返り」ならびに「高校訪問方針説明」を開催した。

プログラム1：2023 年度入試結果の振り返り (昨年度入試における理工学部の出願者分析をもとに、戦略の振り返りを行います)

話者：株式会社リクルート まなび進学情報 Division

関西・東海大学企画営業部 黒澤 杏樹

プログラム2：高校訪問方針説明 (今年度の高校訪問に向けた説明を行います)

話者：株式会社リクルート まなび進学情報 Division

関西・東海大学企画営業部 田口 雄大

(3) 教育業績の表彰は、「ネットワークプログラミング」において、電子工学と情報工学の基礎知識を情報通信システムに適用するための基本技術を身につけ、IoTデバイスの制御やネットワーク通信に関する問題解決能力を高める授業内容を評価し、宮澤 元 准教授、栗原 寛明 准教授、横山 哲郎 教授を対象とした。

(4) 全学「学生による授業評価」(Q1～Q4)については、「学生による授業評価結果の概要」に基づいて、評価結果に対する各種集計を確認した。5段階評価のメリット・デメリットを含めて回答方法を考慮した分析が必要と思われる。2023年度Q1は、履修前興味Q1 (全学4.01)、授業参加努力Q2 (全学4.13)、授業開始終了時間Q3 (全学4.74)、授業構成進度Q4 (全学4.52)である。理工学部共通科目は、Q1 (3.76)、Q2 (3.86)、Q3 (4.72)、Q4 (4.31)であり、全体的なバイアスが存在する可能性がある。

(5) 相互授業参観促進方法の提案には至らなかった。しかし、FD 自己点検報告会において、学部横断的な演習科目について情報交換を行ったことは有意義である。

2023年度活動の成果

FD 講演会では、外部講師を迎えて、2022年度の理工学部の受験状況を確認し、昨年度の広報戦略の振り返りを行なった。理工学部で学ぶことに興味をもつターゲット層に対

して、どのような内容を説明すべきか、また、学部教員は高校訪問時に何を説明し伝えるべきかなどを、より明確にすることで、学部としての意思統一を行った。